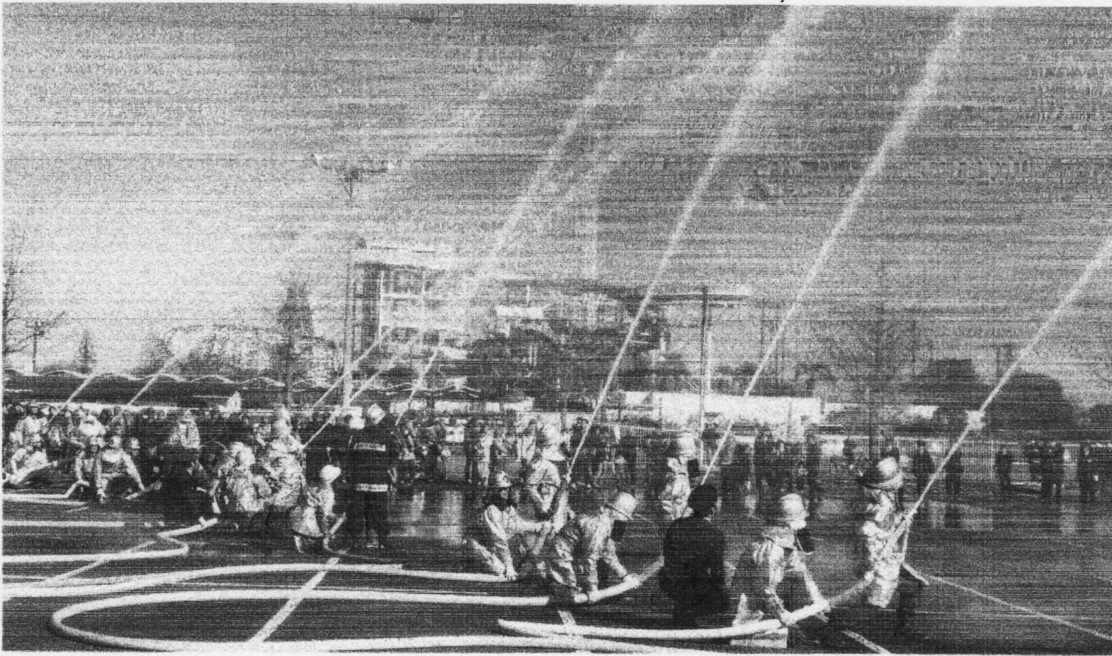


多摩消防団だより



第 8 号
 発行 吉 日
 平成 23 年 1 月 部
 多摩消防団 報
 印刷 所
 井上印刷

「新年を迎えて」多摩消防団長 松澤忠志

平成二十三年の新春を迎え、心からお喜び申し上げます。

一月七日に多摩区消防出初式が、多くの区民の皆様のご参加を頂き、盛大に行われましたこと心から御礼申し上げます。

昨年はお蔭様で、当多摩区では大きな災害も無く、これもひとえに地域の皆様方の防災に対するご理解の賜と、心から感謝申し上げます。

各分団、各班において、地域の行事活動に大いに参加をし、地域の方々の防災に対する意識を高め、多摩区から災害や火災を少しでもなくすことが、我々団員の使命だと思っております。各団員のご協力を、宜しくお願いいたします。

本年の皆様方のご健勝と、お仕事の御繁栄を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

「年頭の挨拶」 多摩消防署長 平野敏行

新年あけましておめでとうございます。消防団員並びにご家族の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えになられましたことと、お喜び申し上げます。

年末の特別警備では、ご家族共々のひとときを共有されたいとの願いも、区民の安全・安心の確保にご尽力され、衷心より感謝と敬意を表する次第であります。

本年も多摩区の安寧を期するとともに、多摩消防団のご活躍を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十三年 多摩区消防出初式受賞者(敬称略)

市長表彰

永年勤続功勞消防団員

生田分団 副分団長 井田 久勇
 生田分団 副分団長

退職消防団員功勞賞

元本団 副団長 田中 隆浩
 元稲田分団 分団長 濱田 基男

優秀消防分団

生田分団

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員

稲田分団 分団部長 田村賢太郎
 生田分団 団員 石川 秀明

勤務成績優良消防団員

稲田分団 菅班 五島 重昌
 菅班 大熊 健治
 中野島班 塚本 弘和
 登戸班 高橋 大介
 宿河原・堰班 廣瀬 剛二
 長尾班 高田 剛二

生田分団 東生田班 古谷 典久
 中央生田班 小菅 康久
 長沢班 谷中 伸一
 大作班 齊藤 一

退職消防団員

元本団 副団長 田中 隆浩
 元稲田分団 分団長 濱田 基男
 元稲田分団 班長 吉澤 和彦
 元稲田分団 班長 小井 正彦
 元稲田分団 班長 白井 信行
 元稲田分団 班長 山口 勝也
 元稲田分団 團員 伊藤 一也
 元稲田分団 團員 安藤 巡一
 元稲田分団 團員 曾根 浩一
 元稲田分団 團員 大津 浩一

多摩防火協会会長表彰

消防功勞部隊
 稲田分団 中野島班
 生田分団 中央生田班

ご自宅に、住宅用火災警報器を設置しましょう (本年5月末より義務化)

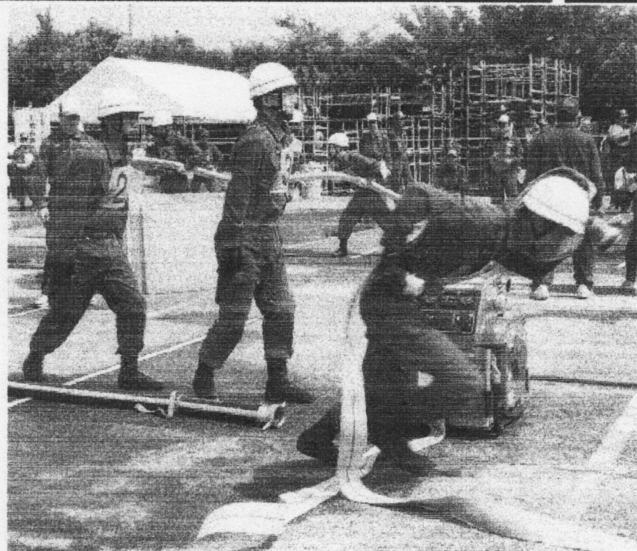
川崎市消防団 操法大会

九月十二日、中原区にある三菱ふそう工場において、川崎市消防団操法大会が行なわれ、市内八消防団から十六チームが出場しました。当日は厳しい暑さの中、選手達も日頃の訓練の成果を発揮しました。

多摩消防団からは稲田分団の宿河原・堰班と、生田分団の大作班が小型ポンプ操法の部に出席し、宿河原・堰班は優勝に、大作班は敢闘賞を受賞しました。



(右) 敢闘賞を受賞した、大作班の出場選手



(上) 優秀賞を受賞した、宿河原・堰班の演技

出場した両班を代表して、宿河原・堰班の班長と出場選手に感想を聞きました。

宿河原・堰班班長 石田孝行

五月にあった稲田分団班長会で他の班長さんから、協力・応援するから我々分団の操法の技術・レベルが上がっていることを大会で見せつけよう、という頼もしい言葉を沢山頂きました。そのような背景もあり、私自身も班単位で出場するのだという気持ちから、分団の代表で出場するのだという強い気持ちになりました。班員全体も高い志を持って目標に向かって一つ、一つとまとまってくれました。訓練最終日に「今やる事は全てやっただから、自信を持って力を出し切ろう、それで結果が出なかつたら一からまたやり直せばいい」と話したのを覚えています。

大会が終わり、結果が出て自分たちが取り組んできたことは正しかったと自信を持ってました。しかし、稲田分団には通過点であり、やる事はまだまだ沢山あると思っております。今回我々が経験させていた事、また分団長をはじめ各班に頂きました恩恵を次大会に向けて少しでもお返し出来ればと思えます。ありがとうございました。

指揮者 斉藤裕之

「そして、優秀賞は稲田分団宿河原・堰班！」

お心から聞いた時、肩の荷がかった夏がやっと終わって、長い時でも不安な選手に選ばれたのか、選手が大きくなっていくにつれて、練習が進んでいくのが感じられました。

支援、および他の班の皆さんや協力、地域の代表と力強く感じました。地域の熱い指導が、本当に皆様の陰で結果が残ったのだと思えます。この思いが、経験を伝える、協力していきましょう。

一番員 元木博之

市大会には、班として稲田分団の代表として出場しました。長い訓練を支えて下さった稲田分団、そして班の仲間たち、ありがとうございます。訓練をした選手が一致団結して出場できたことで、優秀賞という結果に結びついたと思っております。これからも班の一員として、地域の活動の力になっていきます。

二番員 木浪哲也

約三カ月間にわたり夜間訓練を行い、今年の夏は特に暑く、厳しい訓練でした。しかし、練習を重ねるごとに班の団結力が強くなり、大会当日を迎える事ができました。優秀賞という結果を頂きました。選手をやった自分たちよりも、選手以外の方の仲間たちの力の大きさを感しました。

三番員 高橋大介

今年の夏は「熱くて長いぞ」と覚悟を決めて、六月下旬から大会に向けた訓練を始めましたが、今まで一番、班が一丸となって取り組めた年だったと思います。

市大会に向けて班長が「一年次は関係なく、気づいたことは選手に伝えてくれ」と言われ、自分も後輩から色々指摘してもらいました。また、他の班からも応援をうけ、特に前回出場した登戸班の方々は訓練のたびに来てくださり、助言や指導をしてくださいました。これが自信となり、当日は自分たちの番がくるまでリラックスでき、いざ緊張してきても「これまでやった事をやるだけ」と思うと普段の動きが出来ました。ありがとうございました。

